

**令和4年9月定例議会【代表質問】** 宮崎県議会自民党会派 幹事長として代表質問をさせていただきました。

**1 知事の政治姿勢について(計6項目の質問)**

- Q** 喫緊の課題であるコロナ禍や原油価格・物価高騰への対策は。
- A** 宮崎再生基金を活用しながら商店街の活性化や観光誘客の促進、農林水産業、商工業の支援、生活困窮者等への対応などきめ細かな施策を機動的かつ継続的に実施していく。



**2 財政運営について(計2項目の質問)**

- Q** 新型コロナウイルス感染症対策や社会保障関係費の増加や、公共施設の老朽化対策、国スポ・障スポの開催経費等、求められる財政需要に対応しながら、どのような財政運営を行っていくのか。
- A** 財政関係2基金の残高増加をはじめ、地方財政措置のある県債の活用、地方創生臨時交付金、宮崎再生基金等を財源とし財政の健全性を維持していく。



**3 職員採用について(計7項目の質問)**

- Q** 本県での技術系職員採用試験の状況と受験者数を確保する対策は。
- A** 近年、競争倍率が低い状況が続いている。「土木」「農業土木」の2職種については、「特別枠」区分を新設、合格発表の早期化、理工系の学生が受験しやすい試験内容への見直し。



**4 災害対策について(計13項目の質問)**

- Q** 避難所の備蓄、供給、アレルギー対策は
- A** 宮崎県備蓄基本計画に基づき、発災後3日間必要となる食料、毛布等の備蓄があるが、南海トラフ地震等に備え指針の改定を進めている。スーパーやコンビニ、ホームセンター等との協定による物資の供給、国の防災基本計画に基づき食物アレルギーに配慮した食料の確保を進めている。
- Q** 長引く停電等を鑑みると電線の地中化、無電柱化を進めるべきと考えるがその取り組みは
- A** 大規模災害の備え、道路の防災性の向上、良好な景観形成の観点からも無電柱化は大変重要である。緊急輸送道路や主要な駅周辺で整備を進めている。(※1km当たり約4億円～5億円の高いコストがかかる)
- Q** 「国土強靱化5か年加速化対策」後も持続的、安定的に対策を進めるための必要な予算の確保に向けた取組は
- A** 災害リスクの高い本県において県土強靱化に欠かすことの出来ないインフラ整備は道半ばである。国土強靱化予算の必要性を国に訴えながら、予算確保に全力で取り組んでいく。



**宮崎再生!!**  
原油価格・物価高騰対策が喫緊の課題



**5 交通対策について(計4項目の質問)**

- Q** 鉄道に関する国の検討会の提言を受け、今後どのように対応していくのか
- A** 利用者が著しく少ない線区について、国がどのように対応していくのか注視しながら、路線の維持・存続という方針の下、沿線自治体と一緒に利用促進に努めたい。  
(※鉄道は、県民の通勤・通学・通院などの日常生活のみならず、観光を支える重要な社会基盤であり、ゼロカーボンの推進という観点からも大きな役割を担うものである。そのため、沿線自治体と一緒に、利用促進に全力で取り組んでいただくとともに、人口減少や突発的な被災等も見据えた将来のあり方についても、今のうちからしっかりと地元と議論していただきたい。)
- Q** 「たかちほ」と「ろっこう」新船二隻での就航が始まる宮崎カーフェリーへの期待、展望についての所見
- A** 二隻体制になり、更なる旅客の拡大、より多くの貨物積載による農産物輸送を中心とした需要拡大が期待される。本県経済の生命線と位置づけ、オール宮崎の体制で航路の維持・充実に取り組む。



**6 観光対策について(計6項目の質問)**

- Q** 東京商工リサーチによると売上高が半減以下の企業割合と借入金の返済見通しを「現在懸念があり」とする企業割合共々、宿泊業がワースト1位と公表し、新型コロナの影響を最も大きく受けている業種であること示した。本県観光業の現状をどのようにとらえ今後どのように対策を講じるのか。
- A** 本県の観光はかつて経験したことがないほど厳しい状況にある、宿泊業者の感染防止対策の支援や教育旅行の支援、県内割引事業ジモ・ミヤ・タビキャンペーン等で県内旅行需要の喚起を図っていく。
- Q** インバウンド現状と今後の対策は
- A** 外国人観光客は、令和2年度以降新型コロナの影響で実質ゼロ。「インバウンド緊急誘客再生事業」により、まずは、韓国・台湾・香港を対象に福岡空港等の他県空港を経由した誘客をはかり、宮崎空港発着の国際定期便の早期再開つなげていきたい。



**7 スポーツランドみやざきの推進について(計6項目の質問)**

- Q** 国スポ・障スポについて、新型コロナの影響や燃油、資材等の高騰等の影響で懸念される大会開催までの準備状況(工程の進捗)、また主要3施設の整備の進捗状況と屋外型トレーニングセンター整備の進捗状況は
- A** 国スポ・障スポ開催準備総合計画に基づき、概ね順調に進んでいる。陸上競技場、体育館は建設工事に着手、プールは実施設計を行っている。屋外型トレーニングセンター整備も順調に進んでおり、今年度中に完成する見込み。来年4月の供用開始に向け事業者や県土整備部と連携し整備を進めていく。また将来は、ナショナルトレーニングセンターの指定を目指す。



**8 投票率アップについて(計3項目の質問)**

- Q** 若年層を対象とした選挙啓発の取り組みは
- A** 県選管による高等学校における出前授業の実施、宮崎大学との共催による選挙や政治を学ぶ講座の実施、模擬投票の実施、スマートフォンで情報を得られるよう特設ページを作成、SNSによる情報発信の強化。



**宮崎県政に対する提言** 我が自民党会派から知事に対して提言・要望を行いました。

総合交通網の維持、生活困窮者支援の充実、地域医療提供の充実と強化、地域経済対策の充実、燃油高騰・資材高騰対策、水田活用の直接支払交付金の見直しをめぐる対策、国民スポーツ大会に向けた競技力向上等、本県の直面する県政の重要な課題11項目を提言・要望しました。



**自民党宮崎県連ヒアリング**

自民党県連による農民連盟や商工会連合会等38団体から意見や要望等の聞き取りが実施されました。中小企業への支援やプレミアム付き商品券の発行等の経済対策、高騰する肥料の代替策、医療人材の確保・育成等、187項目を取りまとめ、河野知事に要請書と提言書を提出しました。

